

2019 年 8 月 27 日

各 位

会社名 福井コンピュータホールディングス 株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 治克
(コード番号：9790 東証第一部)

建設インフラ事業における新クラウドサービスの発売

当社連結子会社である福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田直）では、下記の通り新たなクラウドサービスを 2019 年 9 月 24 日に発売いたします。

事業部名	サービス名	サービス内容
建設インフラ事業部	CIMPHONY Plus	3 次元データ共有クラウドサービス

➤ 背景

国土交通省が生産性革命プロジェクトの一つに位置付けている“i-Construction”は、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの建設生産プロセス全体で現場の生産性を高める取り組みとして、3 次元データの効率的な利活用を推進しています。場所を問わず、マルチデバイスでの利用が可能など、多くの利便性を備えるクラウドの普及はますます加速しており、弊社では、建設業における ICT プラットフォームとして、3 次元データの更なる流通・利活用を推進できる基盤として、新たなクラウドサービスを提供開始します。

➤ 本サービスのポイント

本クラウドサービスでは、建設生産プロセスにおいて、リアルな工事現場の状況をクラウド上で共有でき、工事に関係するすべての人々の関係者の距離と時間の短縮に繋がる基盤として有用です。

- ブラウザで 3 次元データ（点群・設計）を閲覧可能な多機能ビューアを提供。特別な端末やソフトウェアを必要としません。
- 電子小黒板で撮影される写真を含め、全てのデータを日時と 3 次元位置情報をキーとして管理。工事の履歴を 3 次元で保持することができます。

今後も弊社の商品、外部の様々なサービス、IoT 機器などとの連携を絡めながら、基盤としての利便性を高め、3 次元データの利活用を推進して参ります。

各商品の詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

報道関係者各位

2019 年 8 月 27 日
福井コンピュータ株式会社

【続報】データ共有クラウドサービス「CIMPHONY Plus」、 2019 年 9 月 24 日（火）よりサービス開始

～工事データの時間軸と位置情報管理で、持続的なインフラマネジメントを支援～

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、工事に関連するデータを時間軸と位置情報によって管理し、持続的なインフラマネジメントを支援するデータ共有クラウドサービス「CIMPHONY Plus」を 2019 年 9 月 24 日（火）よりサービス開始します。なお、本案内は 2019 年 5 月 20 日に発表した内容の続報であり、機能や価格等の詳細を改めてご案内するものとなります。

【新サービスのポイント】

- 国土地理院が提供する「地理院地図」などを利用し、クラウド上に 3 次元地図を表現。地図上で工事現場データの管理・共有が行えます。
- 現場写真データや、現場の 3 次元データ（設計データ・点群データ）を時間軸と位置情報で管理することで、受発注者間や関連業者間において、一連の工事状況の“見える化”を実現します。
- 将来的には、持続的なインフラマネジメントを支援するデータ流通基盤として広く運用されることを目標としています。

※その他詳しい内容は【別紙】をご覧ください。



【リリーススケジュール】

2019 年 9 月 24 日（火）

- Standard プラン：現場写真データ（電子小黒板）運用サービス

※なお、2020 年 1 月頃より下記プランが追加となります。

- Professional プラン：3D データ（設計・点群データ）運用サービス

【価格】（税抜）

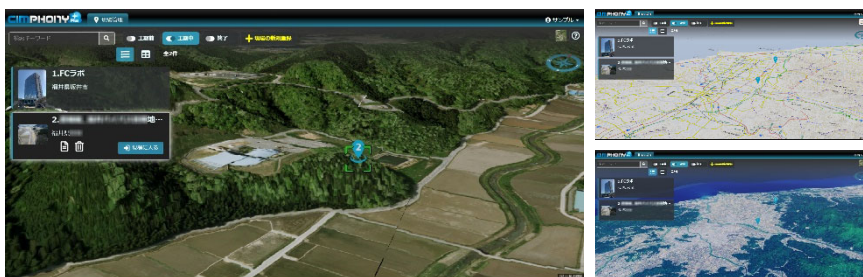
Standard プラン：年間¥36,000～

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 営業部 営業推進課 担当：野路
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

【別紙】CIMPHONY Plus の主な機能

● 現場プラットフォーム

- 国土地理院が提供する「地理院地図」や「標高タイル」、または OSM 財団が運営する「OpenStreetMap」を利用し、クラウド上でデータ管理のプラットフォームとなる 3 次元地図を表現します。
- この 3 次元地図上において、様々な工事現場データを時間軸と位置情報で管理することで、受発注者間や関連業者間において、一連の工事状況の“見える化”を実現します。



● Standard プラン：現場写真データ（電子小黑板）運用サービス

- 撮影日時や撮影位置情報を含んだ現場写真データを、3 次元地図上に配置・保管することで、工事の進捗に応じた現場写真の管理が行えます。
- 弊社の電子小黑板対応スマホアプリ「どこでも写真管理 Plus」および土木施工管理システム「EX-TREND 武蔵（写真管理）」との連携機能を備えており、高効率な現場写真管理が可能となっています。
- また、写真データ以外にも、様々なドキュメントを 3 次元地図上に配置・保管が可能となっています。



● Professional プラン：3D データ（設計・点群）運用サービス ※2020 年 1 月頃提供開始予定

- UAV やレーザースキャナーなどで得た 3 次元点群データや、ICT 施工で用いる 3 次元設計データなどを、3 次元地図上に配置・保管することで、工事の進捗に応じた計測や設計、出来形状況などを立体的にシミュレーションすることができます。
- 弊社の 3D 点群処理システム「TREND-POINT」との連携機能を備え、クライアントアプリケーションとクラウド間のシームレスな点群データの連携を実現します。また、弊社アプリケーション等で作成した設計データを配置することができます。
- 特別なツールがなくても WEB ブラウザのみで、点群や設計データを 3 次元地図上に重ねて表示できます。



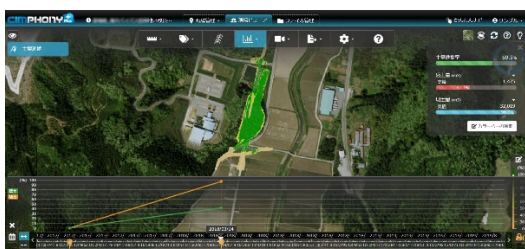
- 任意断面：計測データから任意の断面を生成することができます。



- 現況比較：計測データと設計データの比較、計測データ間の比較による差分土量算出ができます。



- 土量進捗：日々の計測データを元に土量進捗管理が行えます。



● 動作環境

- 対象ブラウザ
 - ✧ Google Chrome 9 以降
 - ✧ Microsoft Edge
 - ✧ Safari 8 以降
 - ✧ Mozilla Firefox 4 以降

※上記ブラウザの公式最新バージョン推奨（2019 年 8 月現在）
- 表示解像度
 - ✧ 1280×1024 ピクセル以上
- グラフィックス機能
 - ✧ OpenGL3.2 もしくは OpenGL ES 2.0 以上（WebGL が実行可能であること）
- グラフィックスメモリ
 - ✧ 512MB 以上（1GB 以上推奨）

※掲載の画面は開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。

※工事データ協力：株式会社道端組